

生命とくらし、平和を守るために

飯伊民医連だより

No. 224

(健和会だより通算)
改題 第77号

2019年5月号

隔月刊

発行 飯伊民医連

(長野県民主医療機関連合会飯伊地域連絡会)

〒395-0801 長野県飯田市鼎中平 1905-5

電話 0265(52)5490 fax 0265(52)5491

編集 機関紙編集委員会

発行責任者 林 憲治 編集委員長 水野 耕介

役立つ情報を提供します。ぜひ読んで活用ください。掲載にふさわしい情報やアイデアも気軽に寄せてください。

特養あずみの里 業務上過失致死事件裁判 『不当判決』に震撼！



支援者に囲まれて入廷する山口けさえさん



入廷する弁護団

特養あずみの里裁判で無罪を勝ち取る会 事務局長 手塚 健太郎

「募金」による支援活動、そして、新たに「東京高等裁判所あて署名」に取り組みますので、みなさまのご協力をお願いいたします。

(5面に参加者の声掲載)



「裁判官は、3つの争点について、①窒息であることを認めた、②見守りを怠ったという注視義務はない、注視義務違反もないとした、③おやつにゼリーでなくドーナッツを配ったことは過失としました。明らかに弁護団が公判廷に提出した証拠を正しく採用していない、証拠を正しく認定していない、そして、結論付けも間違っているということで、許すことができない不当判決だと、弁護団は速やかに意見を一致させて即日控訴状を提出しました。東京高等裁判所での闘いになっていきますが、引き続き山口さんとともに力を合わせて、控訴審で引っくり返す、完全無罪判決を勝ち取って、日本の公的介護を守り抜くために、そして、山口さんを守り抜くために頑張り抜く決意です」

無罪を勝ち取る会では、引き続き「募金」による支援活動、そして、新たに「東京高等裁判所あて署名」に取り組むので、みなさまのご協力をお願いいたします。

長野地方裁判所松本支部は3月25日(月)、本事件において「20万円の罰金刑」という不当判決を言い渡しました。弁護団は即日控訴し、高等裁判所での法的勝利を勝ち取る決意を表明。裁判所での傍聴支援と報告集会(松本市勤労者福祉センター)には全国から420名が結集しました。

公判後に開催された報告集会で、山口けさえさん(准看護師)は、「残念な結果になりました。でも負けません。本日の結果に控訴いたします。改めてご支援をお願いいたします」と話しました。弁護団長の木嶋日出夫弁護士は、判決について次のように述べています。

支援募金振込先: 長野銀行 本店 普通 8828733 無罪を勝ち取る会

飯伊民医連法人・事業所の未来を担う職員 32 名が入職！



牛山運営委員長が「無差別・平等の理念」を説いて歓迎

飯伊民医連に新入職員32名が入職し、5法人による合同入職式を4月1日、開催しました。

新年度入職者は、社会医療法人健和会23名、社会福祉法人ゆいの里4名、社会福祉法人林の杜4名、一般社団法人飯田ひまわり企画1名です。職種は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、臨床検査技師、保健師・看護師、臨床工学士、臨床心理士・公認心理士、社会福祉士、介護福祉士、事務となっています。



牛山雅夫 飯伊民医連運営委員長（社会医療法人 健和会 理事長）は、

歓迎挨拶で、民医連事業所の特徴は、無差別平等の理念から、①差額ベッドを徴収しない、②無料低額診療を提供、③憲法を最高法規として理念に掲げている事業体であると説明。そして、新入職員へ「1. 良好な高いレベルでのコミュニケーション・人間関係を築く上で大切な、相手へのメッセージ発信として」しつかり

あいさつ”する、2. 医療介護のプロとして患者・利用者さんのプライバシーを守り、自分の専門性をさらに高め、多職種連携、社会保障制度、患者・利用者に関わる学会等での症例・研究発表、社会保障制度の不備や矛盾など自ら進んで学習する、3. 患者・利用者さんの医療・介護の安全性を高める視点から、疑問に思ったことについては躊躇なく発言・発信を！”のアドバイス3点を贈りました。



社法人林の杜の井澤美咲さんより
着任挨拶が

述べられました。

「私は、大学で管理栄養士の資格を取得した後仕事に就いていました。高齢者介護については身近でなく自分も関心がありませんでした。しかし、数年前より祖母の介護が必要となり、母と共に在宅で介護する生活に直面しました。母を通して改めて高齢者を介護する人の精神的・肉体的ストレスの厳しさを目の当たりにし、介護施設の重要性

について認識しました。そこで、管理栄養士として手助けできること、自分の資格を生かす仕事が見い出せたことに気がつき、今回新たにこの仕事に就くことができました。加速する超高齢社会の中、とても重要な職場環境で1日も早く新しい戦力となれるよう、職員として全力を尽くせるよう努力していきますので、みなさまでございましょう。お願いします。」

新入職員は、辞令交付を受け、5法人から事業と特色について紹介され、引き続き3日間に渡るオリエンテーション・各種研修を受講後、法人・事業所の職場に配置されます。地域の医療・福祉・介護を担っていく新入職員のみなさんの今後の成長と活躍を大いに期待しています。事業所等でユニフォーム姿の新入職員を見かけましたら、ぜひ一言お声をかけてください。

飯伊民医連 育成委員会

●特別寄稿●

児童虐待への対応 野田市小4女児死亡事件を踏まえて

日本社会事業大学専門職大学院 教授 宮 島 清



教育委員会は、結果として、子どものいのちと引き換えに自分たちを守ろうとしてしまった。それは、直接かかわった最初の担任らへの裏切りにもなった。後悔が尽きないだろう。

この転校の決定はどう決裁され、どう引き継がれたのか。それは転校先の関わりを方向づけたはずだ。SOSを受け止められなかった子どもは、2度とは出さない。こんな経験をした子どもが「活発」であったことは不自然だ。それは父親の求めに応えた「背伸び」だったかも知れない。

父親が学校や教育委員会に対して見せた激しさや執拗さは、子どもや母親に向けられたものと同じものであったはずだ。このような判断をすることは教育委員会だけでは難しい。だから、即時の関係者協議を行ないたかった。

柏児童相談所の説明はちぐはぐに感じられた。保護者同意によらない即時の一時保護、保護中に繰返された面接、保護期間は上限に近い約50日に及んだ。子どもの不安が続き、引取りの

条件を「母親が親族宅で養育する」「児童相談所が継続的に関わる」とした。どれをとっても、当時の認識が「軽度虐待」だったはずはない。問題は引取り後の対応、特に転校後や新年度の対応が当初のものとの間に落差があることだ。とりわけ新年度は、学校からの「安全で安定している」という報告内容を受け取ることだけが続け、死の直前にあった長期欠席の報告にも反応できなかった。

しばしば「危機介入と支援を分ければ上手く行く」という意見が語られるが、実は、「一貫した対応」こそが重要だ。年度替わりの時期であったこと、担当者や管理者の異動などがどう作用したのかの検証が不可欠である。

DVも児童虐待も力による支配を特徴とする。事件当時は暴力を受けていなかったとしても、母親は目に見えない鎖にしばられていたはずだ。心が萎え、思考停止になる。踏み出そうとしても、先への不安が募る。一度逃走した母子が戻ってしまうことは少なくない。上の子と下の子との間に大きな年齢差があり、その背景には父母の別れと再婚があったのだという。重なり合

う幾つもの要素や変化を踏まえないければ、家庭内で起こっていることは読み解けない。

この国は、通知を出し、マニュアルを作り、権限の付与をするだけで、本格的な体制整備を怠ってきた。しかし、昨年末に、政府はようやく児童相談所職員を約3000人増やし、すべての市町村に「子ども家庭支援総合拠点」を置き、すべての要保護児童対策協議会に専門職を常勤で置くことを決めた。これらを確実に進めていかねばならない。さらには、全ての学校にスクールソーシャルワーカーを置くことも行なうべきことであろう。

人が増えても実力はすぐにはつかない。それでも、人と組織を育てなければならぬ。辛抱強く、人材の確保、定着、育成に努めることが必要である。耳心地のよいシステム変更ではなく、地道で確実な取り組みが重要だ。児童虐待は、私たちの問題。すべての国民が、自分にできることを考えない限り、不幸を減らすことはできない。

◆宮島 清 (みやじま きよし)

1981年、埼玉県庁入庁。児童相談所や一時保護所に勤務。専門は子ども家庭福祉とソーシャルワーク。長野県の自然を愛し、県下各地での研修会でも活躍中。60歳。

【クラウドファンディングによる資金募集のお知らせ】

一般社団法人満蒙開拓平和記念館では、「セミナー棟建設 平和の種まきプロジェクト」として、「クラウドファンディング」による寄付を募集中です。さまざまな人たちに「満蒙開拓」の歴史と記念館について知っていただきたく、この企画を、さらに飯伊民医連だより読者のみなさんにも拡げていただければ幸いです。

○募集期間：3月25日（月）～5月31日（金）

○資金募集目標額：200万円

※詳細：<https://www.manmoukinenkan.com/>

Tel / fax : 0265-43-5580 満蒙開拓平和記念館

健和会病院 医療講演会

5月11日（土）14～15時30分

「わかりやすい腎臓病教室」

講師：熊谷悦子先生（腎臓内科）

6月1日（土）15～16時30分

「透析患者さまのための腎臓病教室」

講師：熊谷悦子先生（腎臓内科）

〈場所〉健和会病院 5号館第6・7会議室

本年度より、医療講演は、腎臓病教室や糖尿病教室、その他学習会、講演会が予定されていない月に開催されます。

「拡大医局会議」 各科医師が課題提起

健和会病院では2月22日、拡大医局会議が開催され、医師と管理者、職責者など総勢70名が参加し、熱い議論を交わしました。

冒頭、本田晴康医局長（2019年度は川田崇雄医局長）より、今回の会議は各科を代表する医師から「課題と展望」についてお話しいただき、民医連として、健和会病院としての未来を考える会議としたい、と説明しました。



和田医師（小児科）、塚平医師（消化器内科）、熊崎医師（泌尿器科）、矢高医師（形成外科）、林医師（病理）、熊谷悦子医師（腎臓内科）、鷲見医師（内科）、北原正和医師（脳外科）、本田医師（外科）、福村医師（リハビリテーション科）、牛山医師（脳神経内科）、牧内医師（循環器科）、熊谷嘉隆医師（中央診療所）と各科を代表する13名がそれぞれに呼応する形で報告をしました。

医師たちから提起された内容は、各科の医療展開についてのみならず、最近話題になっている「働き方改革」へどのように対応していくか、看護職や技術職のスキルをどのように伸ばしていくか、なぜ民医連で医療活動を行なっているのかなどについても話がありました。

参加した職員からは、「特別に方針や展望を聞くことができ、看護として一緒に考えていかなければならないことをたくさん投げかけられた」などの意見が上がりました。

健和会病院

事務部副部長 中村 慎吾

手をつなぐ杜の会が定期総会

手をつなぐ杜の会は3月30日、第17回定期総会を開催し、32名が参加。総会前に記念公演で、参流亭べら坊こと平沢富招（とみあき）さんに落語を披露していただきました。落語「時そば」「佐野山」など、とても面白く大変盛り上がりしました。

唐沢会長は、杜の会は今年17年目を迎え、利用者さんが楽しんでみている「うたごえ」を年間196回開催、施設周囲の花壇や畑作りなど法人の活動を支えてきました。引き続き法人の活動を支え、地域のみなさんの要望実現に取り組んでいく活動方針が報告され、拍手で承認されました。



手をつなぐ杜の会

事務局 三石 諭

職場紹介 (33)

健和会病院 健康管理課



企業・個人・団体様、職員の各種健康診断の予約・準備・受診・結果報告など一連の業務を行なっています。2018年度、人間ドックは865名、企業健診は2000名のみなさんにご利用いただきました。

保健師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師、事務2名多職種6名の女性職員で構成され、対応スピードと機動性発揮が要求される職場で、医療でも「予防」分野を行なう専門チームです。健診だけでなく、結果への積極的・効率的、より迅速な生活指導を実施。

「予防」分野の専門チーム 年に一度は諸検査を

ドックや健診などの受診者が、現役バリバリの働く人たちが、明日も元気に働き続けられるために、健康寿命を延ばし、年齢を重ねても疾病で倒れることがないように、そして、予防できる「自己管理能力」もつけていただき、さらに、病気があれば早期に発見、精密検査後も可能な限り早く治療できるために、受診されるみなさんと連日関わっています。

ドックや健診、時には希望されるオプション検査なども受けることで、自覚症状がなくても体のなかで起きていることが見えてきます。「私は健康だ!」と思っている方にも、年に一度は諸検査を受けて、自分の体の状態を正しく知っていただきたいと思います。

健康管理課長

野上 絵美（保健師）

○特養あずみの里 刑事裁判
判決に立ち会って

一瞬で冷めたその場の空気が、とても重く感じられたが、時間の経過と共に「これは本当に不当だ」という支援者一同の思いと、報告集会での弁護団の意気込みと山口さん本人の思いを受け、今後精一杯の支援をしていかなうてはと決意しました。

特養ゆい 介護福祉士・
ケアマネ 市瀬 芳明

○乱暴な訴因変更・追加から有罪判決まで、まさに検察側の〈シナリオ〉通り

不当判決に戦慄が走った。
今まで弁護側証人が発してきた数々の証言を、裁判官・裁判所は一体どのように聞き受

○山口さんと弁護団の諦めな
い姿勢に決意新た！

飯伊地域連絡会
事務局 水野 耕介

介護の未来がかかった裁判は「有罪判決」。介護や看護に関わる職員個人の刑事責任を問う

異例の裁
判での有
罪判決は
言語道断
です。お
一人の方
が亡くな
っている
ことは重
く受け

止め、介護する側もされる側も希望の持てる未来となるよう、山口さんの言葉「でも、負けません。」の気持ちをお胸に、さらに多くの人に支援を訴えていきます。

健和会病院
事務長室 福澤 敏恵

○負けるわけにはいかない！

介護現場の実態を見ず、裁判官は何を見ているのか。山口さん一人に刑事罰を押しつけた判決に負けるわけにはいきません。

健和会病院 相談室
MSW 阿部 りえ子

[illegible]

春にしか食べることのできない「春野菜」は、新玉ねぎ、春キャベツ、アスパラ、菜の花、山菜など。栄養をたっぷりと蓄えた生命力あふれる野菜たち。

春に成長する野菜は、害虫から自分の身を守るため、苦みや独特の香りを持っています。その苦みには、冬の間に体内に溜まってしまった老廃物を排出してくれる働きがあるそうです。

健和会病院 健康管理課 管理栄養士

佐々木 朱美
(飯田下伊那地域糖尿病療養指導士)

ポークケチャップ和え

エネルギー量(一人分) 195 Kcal
 蛋白質 12・8 g
 塩分 0・8 g

●材料
(2人分)

- ・豚肩ロース薄切り 120g
 - ・新たまねぎ 1／2個（約100g）
 - ・春キャベツ 2〜3枚
- ※付け合せの野菜はお好みで
- ・ケチャップ 大さじ2
 - ・ソース 大さじ1／2

●作り方

- ① 新たなねぎは薄切りに、春キャベツは洗って、手で一口サイズにちぎる。
- ② 豚肉は熱湯でゆで、ザルに上げ、粗熱を取る。
- ③ 新たなねぎと茹でた豚、ケチャップ、ソースを混ぜ合わせる。
- ④ キャベツを器に盛り、その上に③をのせてできあがり。



「共同組織活動交流集會に」380人参加

講演「戦争は避けられなかったのか」に切実な感想

長野県民医連第22回共同組織活動交流集會は3月16日（土）、阿智村中央公民館・コミュニティ館で開催。県下各地の6共同組織から380人（飯伊170人）が集い、熱気あふれる中、手をつなぐ杜の会のボランティアによるうたごえで元氣いっぱいスタート。

記念講演「戦争は避けられなかったのか」は、前長野県立歴史館学芸部長 青木隆幸さんが105分間の熱い語りで聴衆を魅了した。満州事変からアジア太平洋戦争の「大東亜戦争」全体像を説明、「320万人は本当に死ななければならなかったのか？」と問いかけ、ミッドウェイ、ガダルカナル、マリアナの海戦を題材に、軍部の一体誰たちがどのような情報と分析によって、杜撰で無謀な作戦を進めた結果、何百万もの尊い命が失われたのか。



青木隆幸さん

「あの戦争は避けることができた」、そして、『英霊』を必要としない社会に」の訴えに、「人の命がいかに粗末にされたのかを実感」「話し合いのある社会を作り、2度と同じ過ちを繰り返してはならない」「不戦の思いを強くした」と切実な感想が参加者から寄せられました。

午後は6分散会と「満蒙開拓平和記念館」見学分科会、「健康づくり」「平和活動」「安心して住み続けられるまちづくり」をテーマに各地域の経験29演題を発表。参加者から「刺激を受け、私たちが取り組みたい」など、元氣が湧く体験交流が実現でき、有意義な分散会に。地元NPO法人ごかの風・ごか食堂「提供のお弁当も参加者に大好評。スロー



会場の様子

ガン…「共同の力で憲法を生かし、平和・人権・くらしを守ろう！」にふさわしい記念講演、分散会での親睦、参加者全員元氣の出る集會は大成功でした。

後日開催された伊那谷健康友の会幹事会では、「記念講演はまさに今の政治に通じる話だ」との情勢に対する危機感が折山安弘会長より語られ、「これから起こりそうな戦争を絶対に避けさせなければ」と確認しました。

健和会病院

組織課長 近藤 健

共同組織活動交流集會に参加して

記念公演で、青木隆幸先生は、盧溝橋事件から太平洋戦争終戦に至るまでの経緯を語りつつ、時代に遅れた価値観・情報能力・戦略で日本が戦争をしていたこと



青木隆幸先生

をお話しされました。犠牲者に対する真摯な哀悼が伝わる内容ながらも、利己主義的な世界外交の中では平和をつかみ取ることがいかに難しいこと

とかと考えさせられた。

午後、私が参加した分散会では、様々な理由で子育てに困難を抱えた家庭を、子どもたちの学習支援などの形で応援する友の会の活動「道草クラブ」について発表。類似し

た活動を実践されている松本協立病院の職員の方と発表後に直接交流でき、悩みや問題の共有ができたのは大きな収穫でした。

健和会病院

外来医事課 和田 拓也

シリーズ リハビリ 最前線 ⑥

自動車の運転は仕事や買い物、旅行などに行なわれ、多くの人にとって生活の一部になっています。

脳血管の病気になった時、身体的・認知的に運転が難しくなってしまう方に、安全に運転ができるよう、健和会病院では運転支援を行なっています。2015年には「ドライブシミュレーター」という、室内でパソコン画面を見ながら模擬的な運転が体験できる機械を導入しました。ハンドル・ペダルの操作や反応の速さ、注意



運転シミュレーター

力・判断力など、机上の訓練だけではできない部分を訓練できるようにしました。また、教習所と連携し、ドライブシミュレーターだけでは見ることのできない部分を実際の自動車に乗って評価しています。

健和会病院

リハビリテーション科

作業療法士 篠田 和典

春の高校生医療職体験」

3月6日と28日の2日間、高校生医療職体験が健和会病院で開催され、合計65名の学生が参加しました。

高校生看護体験は一般的にはすでによく知られた企画になつていますが、健和会病院の特徴は、看護に限らず医師をはじめ、看護師、臨床検査技師、臨床工学技師、リハビリテーション技師、診療放

射線技師、薬剤師、介護福祉士等、高校生ひとり一人の希望に沿って様々な職種の実験ができることにあります。



すでに進路を決めている人はここで決意を新たに、また、進路に迷っている人にとっては意思を固める機会提供の場にもなつ

ています。

看護師体験では「模擬手」を使用する採血と手術着を用いた体験を企画。先輩看護師との交流の中では、実際の仕事の内容ややりがいなどを具体的に聞いて、「やはり看護師をめざしたい」と目を輝かせて感想を聞かせてくれる高校生もいました。

医療職体験は夏と春の2回実施しています。
健和会病院
看護学生委員 平沢 ふみ子

伊那谷健康友の会 5月、6月の予定

- 第24回かやの木診療所まつり
5月11日(土) 13:00～ 於: かやの木診療所
- 上郷支部総会・医療講演
5月23日(木) 13:30～ 於: ケアハウスかみさと
講演: 「くすりについて」 健和会病院 薬剤師 長谷部 優さん
- 高森支部総会・医療講演
5月30日(木) 13:30～ 於: 高森町民俗資料館 (時の駅)
講演: 「口から食べ続けるために」
健和会病院 摂食嚥下障害認定看護師 福村 弘子さん
- 竜丘支部総会・医療講演
6月20日(木) 13:30～ 於: 時又ふれあいセンター
講演: 「認知症について」
健和会病院 認知症看護認定看護師 鳴澤 智子さん
- 笠松山ハイキング ステキな時季、さわやかな新緑を楽しみましょう!
6月1日(土) 8:30～ 集合場所: 梅ヶ久保駐車場
※参加費無料(※申し込みは5/30までに事務局 53-7252へ)

○バランスボール、筋力アップ教室にぜひお出かけください!

- ・鼎支部 毎週水曜日 10:00～11:00 かなえの里ホール
- ・山本支部 5月23日(木) 10:00～11:00 東平防災センター
6月20日(木) 10:00～11:00 同
- ・高森支部 5月18日(土) 10:00～11:00 福祉センター
6月15日(土) 10:00～11:00 同
- ・かやの木筋力アップ体操

5月8日(水) 17:30～18:30 かやの木診療所

6月12日(水) 17:30～18:30 かやの木診療所

※どの会場もどなたでも参加できます。

●子育て友の会 春の例会

6月22日(土) 13:30開場 14:00～ 健和会病院 会議室
講演: 「地域で支える発達障害」

講師: 酒井 慧 先生(松本協立病院 小児科)

※ 託児あります。申し込みは、6月14日までに小児科へ。

総合診療科

幅広く診療できる内科医

健和会病院内科 鷺見 順教^{すみのり}



私が担当する科は主に「総合診療科」です(小児科も担当しています)。

さて、みなさんは「総合診療科」という科をご存知でしょうか? 総合診療科を一言で説明すると「特定の臓器・疾患に限定せず幅広く診療する科」といったところです。

高度に専門分化が進んだ現代医療では、専門外の疾患を診ない(診れない)傾向が強くなっています。例えば、高血圧症、肺気腫、逆流性食道炎、糖尿病を抱えた人は、主治医によっては循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科の4つの内科を受診する必要性が出てきます。これでは受診する側も大変ですし、それぞれの科から薬が処方され、同じような薬の重複や飲み合わせの問題が起こり得ます。こうした弊害を減らすために総合診療科が生まれ

ました。

ただし、実際には、総合診療科の業務内容は病院の規模・機能などによって、病院ごとでずいぶん異なります。

健和会病院と飯田市立病院とでも異なりますし、大学病院となると全くと言っていいほど違います。「特定の臓器・疾患に限定せず幅広く診療する科」ということが共通しているだけと言えるかも知れません。ですので、総合診療科を受診する際は、まず病院のホームページなどを確認することをお勧めします。

ところで、健和会病院には総合診療科はありません。専門外の内科疾患を診ることができる総合診療科的な内科医師がたくさんいて、科を置く必要がないからです。そうした医師団で内科外来を担当していますので、看板は内科外来となっていますが、実質的には「総合診療科外来」と言ってもいいほどなのです。

いつまでも元気で

かやの木の記事を拝読し、職員の方いつも優しく対応してくださり、中村先生の心安らぐ診療にほっといたします。健和会病院がかかりつけですがかやの木診療所はすばらしいです。中村先生、いつまでも元気で診療続けてくださいね。

(願う患者より)

座り込みを応援

沖縄基地問題、他人事と思えません。いつも胸を痛めております。座り込み抗議する人々を排除する人たちも複雑で辛く悩ましい思いをしている筈。私は沖縄住民の人たちの座り込みを応援しています。

(ミドリ)

こちらこそごめんなさい

先月の受診時のこと。メールをしていたため、番号を呼ばれても気づかず名前前で呼ばれま



ハートヒル川路 増澤 加代子さん



ハートヒル川路 大村 初美さん



ハートヒル川路 古林 三子さん

読者の声

した。看護師さんが「ごめんなさいね」と謝ってくれましたが、こちらこそ、ごめんなさいでした！

(うっかり八兵衛)

受診の際に持参

新聞で小児科スタッフが貧困家庭のために物資提供を始めたことを知りました。私も協力できることがわかり、2ヶ月に一度の受診の際には、わずかでも持参できるように心掛けようと思います。

(がんばるぞーさん)

病気や薬のこと知りたい

「癌」は他人事ではないと思う今日この頃、「オプジーボの話」を読み、夢のような薬と思い込んでいた自分が無知だったことに気づかさ

れました。今後はもっと病気や薬について知り、いざというとき少しでも前向きに医師のお話が聞けるようになりたいと思います。

(ゆき)

同うのが楽しみ

ハートヒル川路の静養棟改築おめでとうございます。3ヶ月の間、職員の方や入居者のみなさまのご苦労がわかりました。アイデアも生かされた素敵な施設、同うのが楽しみです。

(まどみみ子)

子どもたちも大喜び

去年は卒業・卒園と忙しかったのですが、今年は子ども2人が進級、ただ今春休み中(母、忙し)。手軽に簡単に草クリーム煮作ってみました、子どもたちも大喜びでした。

(やっちゃん、たかばーのママ)

飯伊民医連



パズル

応募締切りは
5月31日(必着)

ヨコの力

- 1 名古屋市や豊明市、刈谷市の南に突き出した半島。
- 2 祭礼の際に引いたり担いだりする出し物の総称。
- 3 酒などを注いだ盃やコップを掲げ、「○○○○」と唱和したのち口にする。
- 4 広島県の南西部に位置する市。
- 5 漬物にするとおいしい。

タテの力

- 1 源助○○○や飯田○○○などがあります。
- 2 民衆によってと伝えられてきた説話。
- 3 地面の下。地中。土中。
- 4 頭頂部やおでこを外傷・打撲した場合、膨らんでくる内出血部分。
- 5 建築のための木工に従事する職人。
- 6 平成の次の元号。
- 7 湖沼や沿岸部に棲んでいる水鳥。○○が葱を背負ってくる。
- 8 風や震動によって起こる海や川の水面の高低運動。

3月号の当選者

たくさんの方に応募いただきました。正解者のなかから抽選で次の方々に図書券をお送りしました。

(当選者)

小石峯今朝男、コマちゃん サスケ 原さとか 都忘れ

3月号の解答 シュンブン

1	e	2		3	b
4	a				
				5	6
7			8		9
	d		9		c
解 答	a	b	c	d	e

郵便ハガキに住所、氏名、解答を書いてお送りください。正解者には記念品(図書券)をお届けします。(正解者多数の場合は抽選)

<宛先>

〒395-0801 飯田市鼎中平 1905-5 飯伊民医連